

第2号議案 明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂について

1. 説明

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に伴い、国の補助制度と地域公共交通計画との連動化に関する位置づけや運転手確保に向けた取り組み、新たな技術を活用した高付加価値化、令和5年3月のバス路線再編に伴う目標数値の見直し修正等を行うため、所要の改定を行う。

2. 改定内容

(1) 国の支援制度「地域公共交通確保維持事業」に関する位置づけ

運行系統に係る事業及び実施主体において、実施主体を明確に表示する。

- ① 上矢作線、明智まちなか線及び明智デマンド交通の実施主体は、「恵那市（運行は交通事業者に委託）」とする。詳細は改訂計画（案）p48。
- ② 明智まちなか線と明智デマンド交通において、車両購入費の補助を活用する旨を記載する。詳細は改訂計画（案）p48。

(2) 運転手確保に向けた取り組みを追加

持続的な公共交通の実現に向けた運転手不足の解消に向けた取り組み内容を、本計画に加える。

- ① （現状）バス・タクシー運転手不足は深刻であり、50～60歳代が大半を占める一方で、若年層が増えていないことから、運行の継続が懸念されている。
- ② （課題）地域公共交通を持続させる取り組みは、福祉・医療・教育・まちづくりなど交通の目的地となる施策との共創が必要なことに加え、バスやタクシーの運転手などの担い手確保にも取り組むことが必要である。
- ③ （取り組み）就職フェア等を通じた募集活動や資格取得の奨励策の調査・研究、運転手の養成講座の支援等の取り組みを加える。詳細は改訂計画（案）p49, 56。

(3) 新たな技術を活用した付加価値の向上を追加

地域が解決したい課題を明確にし、新技術と地域課題が適合しやすい環境を作り、地域の課題を解決し、交通の質を維持・向上する取り組みができるよう新たな技術を活用した取り組み内容を、本計画に加える。

- ① （現状）現在、新たな技術の活用によって様々なモビリティの開発が進められており、交通分野における利便性向上や経営力強化を進める起爆剤となる可能性があるといわれている。
- ② （課題）一方で、運行情報や運行経路のデータ化された情報が、自治体や事業者等が利用しやすい環境整備が十分でなく、保有データが存在する場合でも、データ分析が地域の関係者間で十分に活かされていない。
- ③ （取り組み）新技術の導入を目的化するのではなく、地域が解決すべき課題を整理し上で、自動運転及びEV車両の導入を推進する旨を加える。詳細は改訂計画（案）p49, 65。

（４）路線再編に伴う評価指標等の修正

令和５年３月の大幅な路線再編に伴い、計画の評価指標に相違が生じたため、再編後の利用者数の現状と目標数値等を改める。

計画中、現状数値を最新数値に改める。詳細は改訂計画（案）p72～。